

今年の一文字は「希」

3学期初日の1月7日に書き初め大会を開催しました。小学部1・2年生はフェルトペン、3年生以上は筆を使って、書き初め用紙に学年ごとに決められた言葉を書きました。子供たちは正座をして背筋を伸ばし、精神を集中させて真剣に「字」と向き合っていました。体育館は張り詰めた空気に包まれました。

調べてみると、書き初めは平安時代の宮中行事が起源で、元日の朝に初めて汲んだ水で墨をすり、新年の縁起のよい方角に向かって祝賀や詩歌を書いていたことに由来するようです。その後、江戸時代に寺子屋が普及して庶民の教育水準が高まったことで、世の中に広く親しまれるようになりました。また、明治に入ってから学校教育にも取り入れられ、日本では現在でも多くの小中学校で書き初めを行っています。

この日、中学生が書いた文字は、『伝統の継承』『柔軟な発想』でした。書いた言葉の意味も考えて、これから1年間の生活の中で生かしてほしいと思います。



書き初め大会では、校長がデモンストレーションとして字を書くのが恒例になっているそうです。そんなことで書道とはほとんど縁のない私も

がんばって書きました。いろいろ考えた結果、2022年が希望にあふれる年になってほしいという思いを込めて、『希』という一文字を書きました。新型コロナウイルス感染症は依然として世界中で拡大を続けており、なかなか先の見えにくい状況ではありますが、そんな中でも、子供たちには夢や希望を持って、力強く生きていってほしいと願います。



中学部 職業講話

1月13日に、中学部のキャリア学習の一環として、職業講話をオンラインで実施しました。今回は日本サッカー協会の高司裕也さんを講師に招き、『探球心』というテーマで話を伺いました。

高司さんは、小学校からサッカーを始め、プロ選手になることを目指していましたが、大学でプロへの道をあきらめ、高校教員を経てサッカー指導者の道を進み、日本サッカー協会の仕事に携わるようになったそうです。現在は、スペインを中心にヨーロッパサッカーと日本サッカーをつなぐ仕事をしているそうです。

高司さんの考え方はとても前向きで、チャレンジ精神にあふれており、そのお話から何事にも一生懸命取り組むことの大切さを学ぶことができました。中学生の質問にも真摯な態度で答えていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。



高司さんには、昨年の東京オリンピック前に、本校とオリンピックスペイン代表とのオンライン交流会の実現に尽力していただきました。その関係で、今回はオンラインで交流したミケル・メリノ選手から下のようなメッセージをいただくことができました。高司さん、ありがとうございました。

Muchas gracias

Yo también estube muy contento de hacer aquella charra Y que sigan estudiando y peleando por sus objetivos!Que igual que nosotros en los juegos si desde el principio trabajas a tope al final recibes tu premio.

Real sociedad
Mikel Merino

1/11 避難訓練

1月11日に、今年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は、地震を想定した訓練でした。子供たちは、地震発生の放送が入るとすぐに机の下に体を入れました。その後、先生の指示に従って素早く静かに避難行動を取ることができました。大使館の宇部様からは、マドリッドは地震が少ないけれども南部では比較的地震が多いことを教えていただきました。災害が起きた時には、自分で自分を守ることができるよう、これからも訓練を続けていきます。



派遣職員をつぶやき

「^{すうがく}数が苦」から「^{まうがく}数楽」へ

金田一 奈都子

私の専門教科は数学です。数学が好きになったきっかけは些細なことでしたが、決して得意教科ではない数学を、好きだからという理由で学び続け、教員になりました。

とある企業が全国の小中学生を対象に行った「好きな科目」「苦手な科目」のアンケートの結果では、算数・数学はどちらの項目でも1位となったのだそうです。苦手な理由としては、「内容が難しく分からない」。何となくうなずけます。

しかし、算数や数学は身のまわりにたくさん潜んでいます。例えば「黄金比」。縦と横の比率がおおよそ1:1.168という数式で表すことができ、人間が見て美しさや安定感を感じると言われています。さまざまな美術作品の中に黄金比を見出すことができ、日本なら金閣、スペインならサグラダ・ファミリアも黄金比で造られています。

それから、「フラクタル」。一部が全体と相似である図形（どの部分を見ても全体と同じ形をしている図形）のことです。フラクタルは自然界に多く見られ、例えば雲の形やシダの葉の形、そして日本でもスペインでも食べる



ことのできるロマネスコの形など、たくさん発見されています。

算数の授業の中でこんな話をすると、「じゃあ、自分でも考えられるかな?」「この法則を中学生は知っているかな?」「先生に問題を出してみよう!」と目をキラキラと輝かせる4年生。数を身近に感じて数に親しむ。法則を考えて楽しむ。本当にそうなのか実際にやってみる。そんな子どもが1人でも増えるといいな、と願いながらこれからもマドリッドの子どもたちと学んでいきたいと思います。

2月の予定

日	曜	行事等	
1	火	全校集会	
2	水	給食なし	
3	木	中学部学年末テスト① 委員会	
4	金	中学部学年末テスト②	
5	土		
6	日		
7	月		
8	火	中学部基礎コンテスト(英単語)	
9	水	給食あり	
10	木	持久走大会	
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	チャレンジ漢字テスト 奉仕活動	
15	火	石田選手(サッカー)交流	
16	水	給食あり 持久走大会予備日	
17	木	被爆体験講話	
18	金		
19	土		
20	日	第3回英語検定2次	
21	月		
22	火	小学部現地校交流(オンライン)	
23	水	給食あり	
24	木	児童生徒企画集会 中学部バルセロナとのオンライン交流	
25	金		
26	土		
27	日		
28	月		